

CRESCO 

2025年3月期 通期 **連結**
アナリスト向け決算説明会

2025年5月12日



1 決算のポイント



■ 組織および体制関連

- 4月1日、中期経営計画2026の達成を見すえ、さらなる社内、グループ会社間の連携を強化するため、組織再編
- 4月1日、ジェット・テクノロジーズ(株)の全発行株式を取得
- 5月10日、株式分割（7月1日付、当社普通株式1株につき2株の割合で分割）を決議
- 7月1日、日本ソフトウェアデザイン(株)の一部事業を(株)クレスコに譲渡のうえ、同社は(株)メクゼスに吸収合併
- 9月10日、(株)クレスコ・ジェイキューブによる(株)高木システムの自己株式除く全発行株式取得を発表（10月1日付）

■ 事業関連

- 2024年4月、子会社(株)クレスコ・ジェイキューブが、IBM社のOS「IBMi」市場の活性化に向け、アイエステクノポート社と包括的協業パートナーシップ「Project Techno-Cube」を締結
- 6月、クラウド総合支援Creageの新サービス「アプリケーションモダナイゼーションサービス」「Creage DevOps導入支援サービス」「Control Towerオプション」提供開始
- 7月、グループ内AI技術活用等に取り組む仮想組織「生成AIビジネス変革研究室」を設立
- 10月、企業のクラウド環境内にGPT環境を構築し生成AI活用をサポートする「生成AI環境構築サービス」提供開始
- 11月、「自動車産業サイバーセキュリティガイドライン対応支援サービス」の提供を開始
- 12月、福岡市の「屋台DX」プロジェクトの一環として、CAPHI社「Capi Order」システムを活用した「多言語デジタルメニュー」に関する実証実験を開始
- **2025年2月、お客様のAI活用に向けた支援を行う「AIトレンド解説セミナー」の提供を開始**
- **2025年3月、生成AIを活用した「社内DX推進支援サービス」の提供を開始**

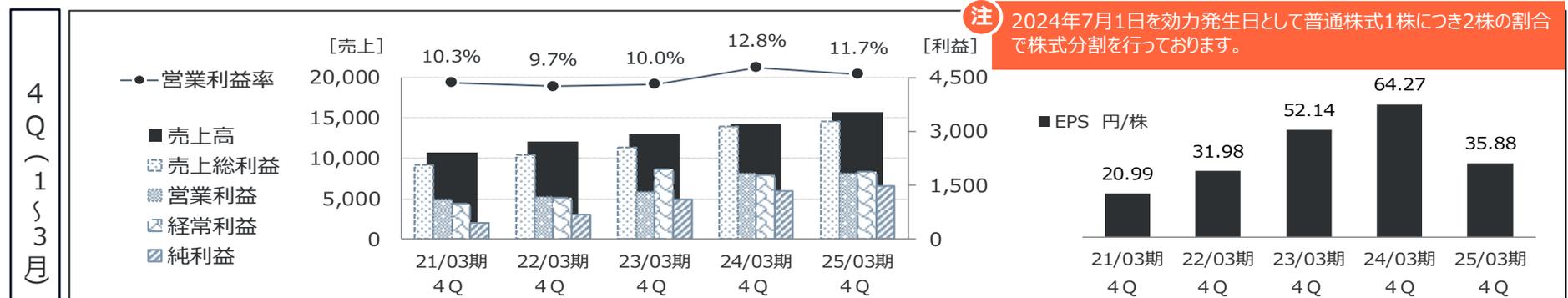
1 決算のポイント 1.2. 売上高・利益

【注】 () 内の数字は各々の利益率を表します。
 【注】 「純利益」は「親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益」です。

- 企業のIT投資需要は依然として旺盛。業種別に濃淡はあるものの、主要顧客を中心に売上が増加、新規連結効果もあり、前年度比（以下同じ）+11.4%の増収。
- 前年度に比べ不採算案件が大幅に減少し、営業利益は+16.8%、経常利益は+11.2%それぞれ増益。

[単位：百万円未満切捨]

通期		23/03期	24/03期	25/03期	前年同期比	対通期達成率	通期 業績予想	
							24/5/10 予想	前年同期比
	売上高	48,368	52,755	58,760	111.4%	100.4%	58,500	110.9%
	売上総利益	9,641 (19.9%)	10,337 (19.6%)	11,779 (20.0%)	114.0%			
	営業利益	4,998 (10.3%)	5,121 (9.7%)	5,983 (10.2%)	116.8%	101.4%	5,900 (10.1%)	115.2%
	経常利益	5,135 (10.6%)	5,658 (10.7%)	6,290 (10.7%)	111.2%	104.8%	6,000 (10.3%)	106.0%
	純利益	3,328 (6.9%)	3,728 (7.1%)	4,405 (7.5%)	118.2%	110.1%	4,000 (6.8%)	107.3%
	EPS 円/株	158.10	90.06	106.89			96.99	



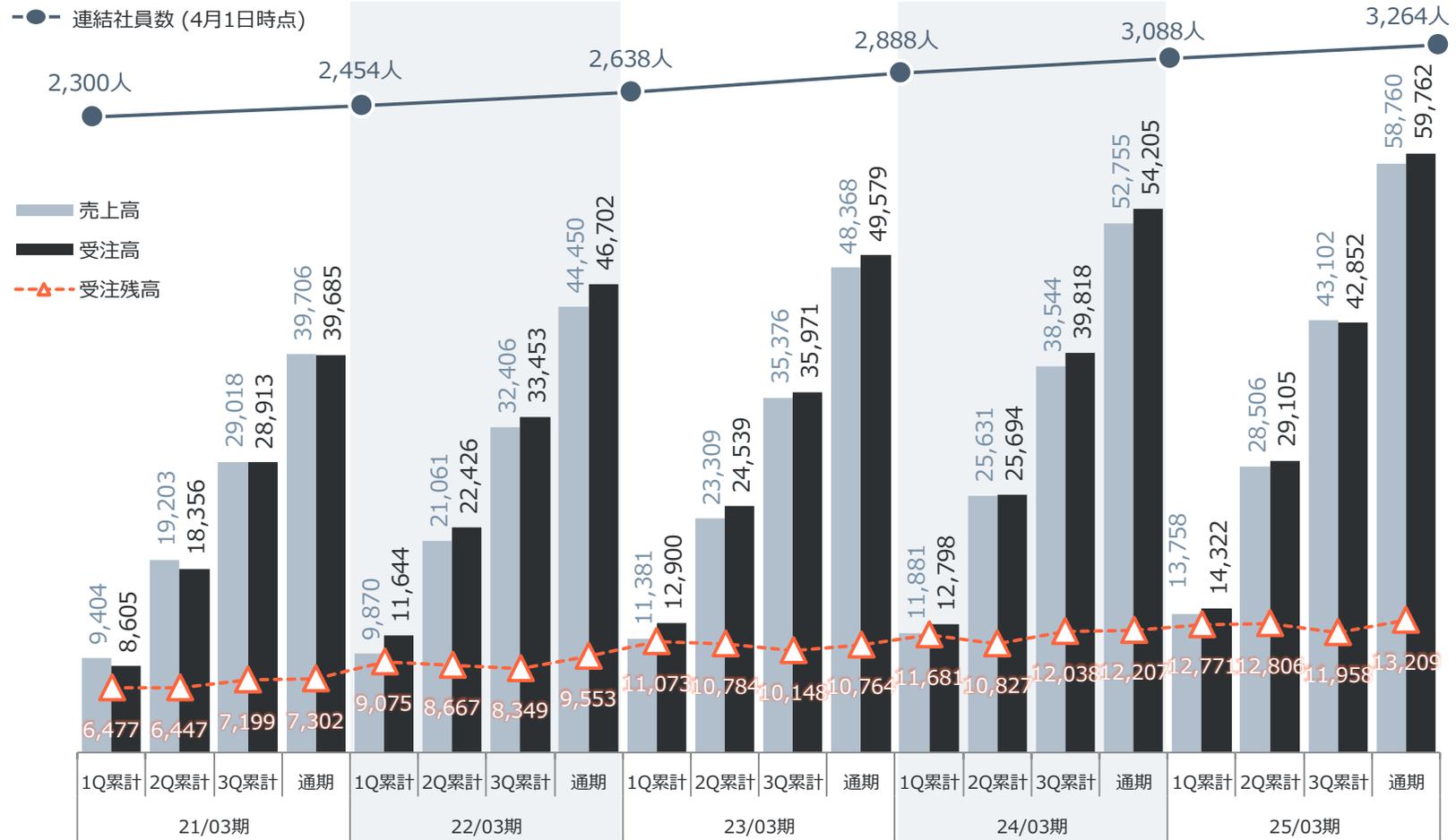


1.3. 受注高・受注残高

[単位：百万円未満切捨]

- 旺盛なIT投資需要を背景に、受注高と受注残高は順調に推移。
- 経済活動正常化後の、企業のDX推進に向けた活発な動きは継続。新規連結効果もあり。

<受注高> 前年通期累計比 110.3 %
 <受注残高> 前年同期比 108.2 %

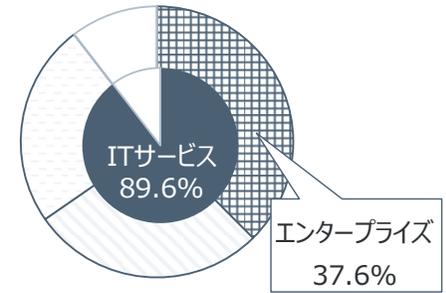




1.4. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：エンタープライズ]

セグメント		サブセグメント
ITサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス 	エンタープライズ 情報・通信、広告、流通サービス、運輸、人材紹介・人材派遣、公共、資源・エネルギー、建設・不動産、旅行・ホテル、医療・ヘルスケア、その他

<セグメント別の売上高比率:4Q(1~3月)>



■ **売上高：220億50百万円（前年同期比 8.6% ↑）**

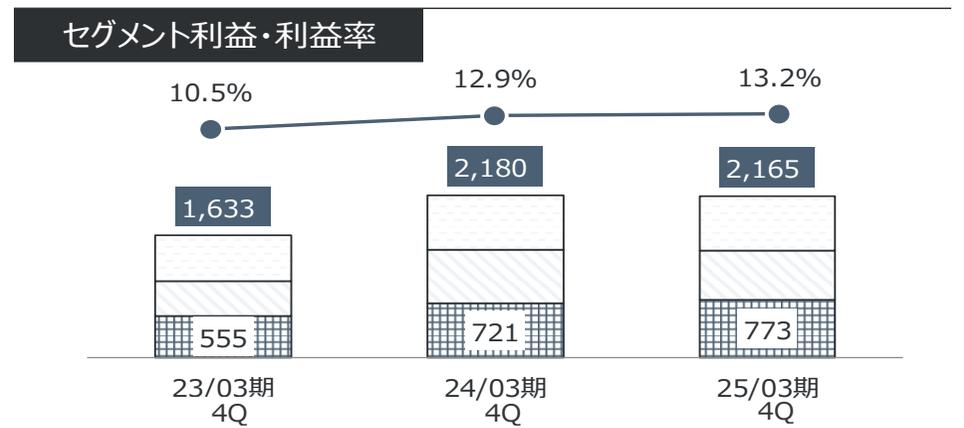
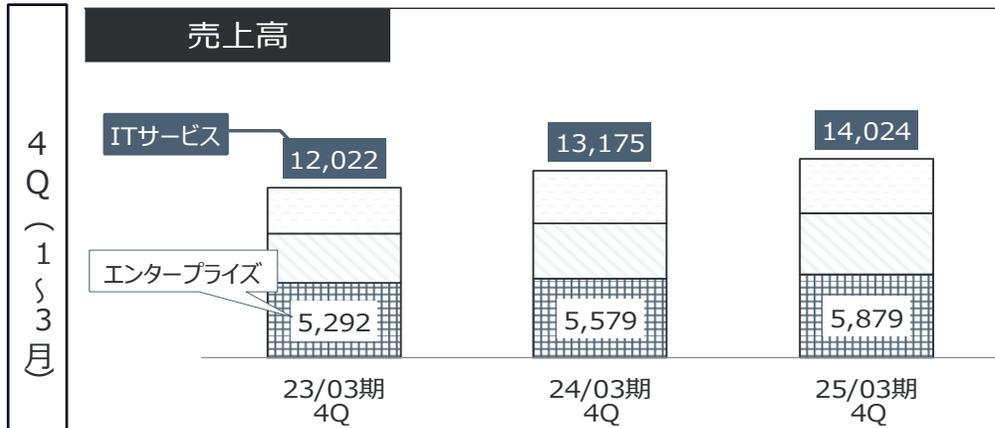
・「建設・不動産」「資源・エネルギー」「流通サービス」「人材紹介・人材派遣」の各分野で受注が落ち込んだものの、「情報・通信・広告」「運輸」「その他」の各分野の受注の伸びが大きく上回った。

■ **セグメント利益／利益率：24億98百万円／11.3%（前年同期比 20.5% ↑）**

・売上高と同様の理由に加え、前年度は複数発生した不採算プロジェクトが収益に影響。

[単位：百万円未満切捨]

通期

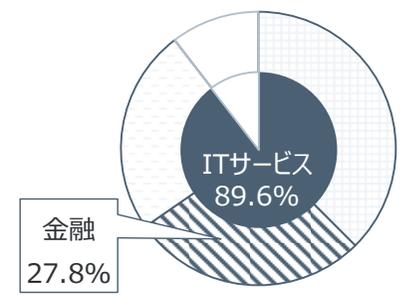




1.5. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：金融]

セグメント		サブセグメント	
IT サービス	・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス	金融	銀行、保険、その他

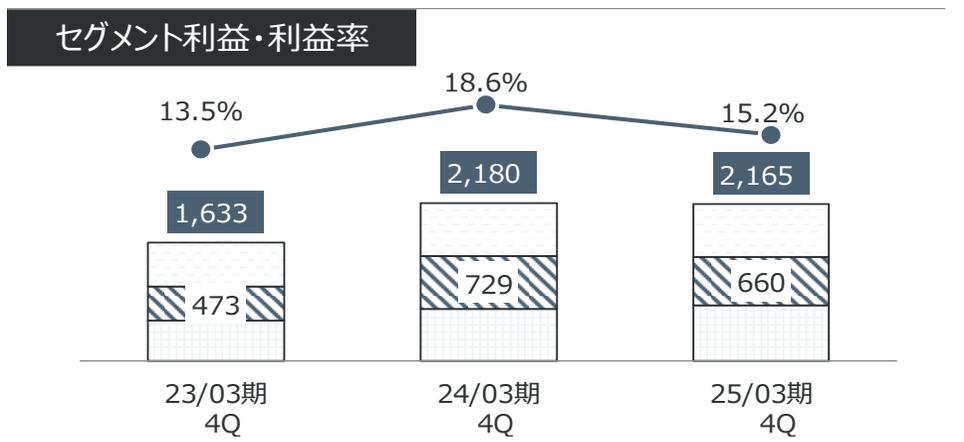
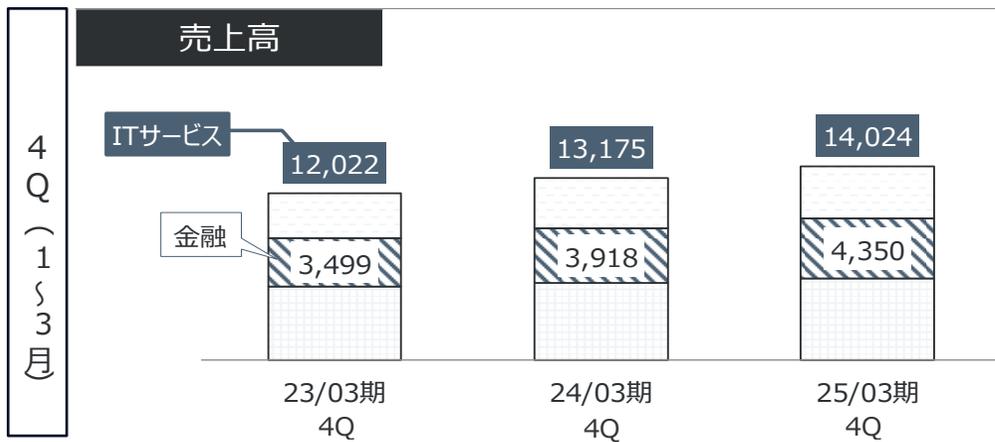
<セグメント別の売上高比率:4Q(1~3月)>



通期

- **売上高：171億65百万円**（前年同期比 **16.4%** ↑）
・「銀行」分野での受注の伸び、ジェット・テクノロジーズ社新規連結による増収。
- **セグメント利益／利益率：23億92百万円／13.9%**（前年同期比 **15.4%** ↑）
・売上高と同様の理由に加え、前年度は不採算プロジェクトが収益に影響。

[単位：百万円未満切捨]

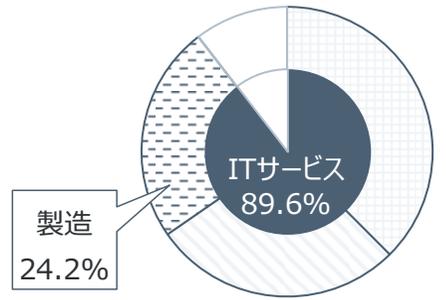




1.6. セグメント別売上高・利益 [ITサービス事業：製造]

セグメント		サブセグメント	
ITサービス	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルティング ・IT企画 ・開発・保守の総合サービス 	製造	自動車、輸送機器、機械、エレクトロニクス、その他

<セグメント別の売上高比率:4Q(1~3月)>



通期

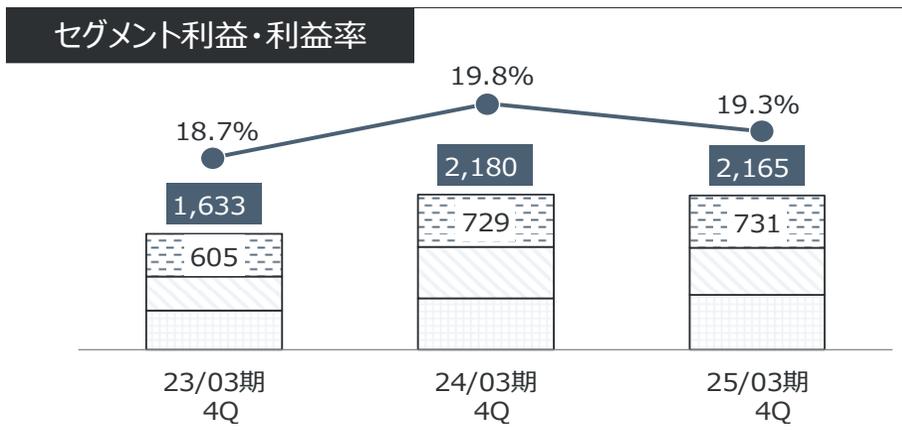
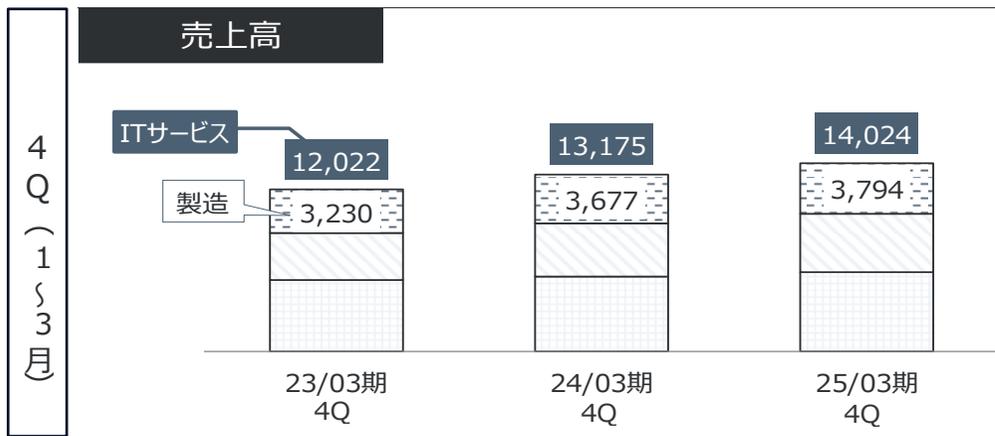
■ **売上高：148億66百万円**（前年同期比 7.3% ↑）

・「機械・エレクトロニクス」分野では伸び悩みも、「自動車・輸送用機器」「その他」の分野での受注の伸び、関係会社2社の新規連結により増収。

■ **セグメント利益／利益率：27億86百万円／18.7%**（前年同期比 13.5% ↑）

・売上高の増加と同様の理由。

[単位：百万円未満切捨]

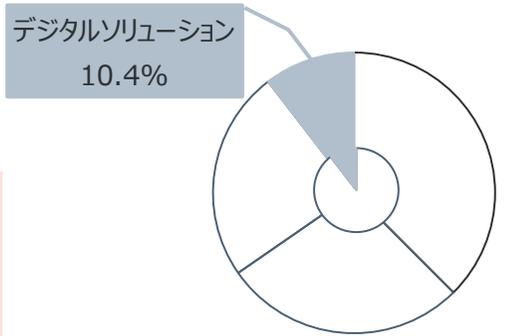


4Q (1~3月)

1.7. セグメント別売上高・利益 [デジタルソリューション事業]

セグメント	事業
デジタルソリューション	顧客のDX実現を支援する製品・サービスからなるソリューション群 <主な製品・サービス名> Creage : クラウド関連サービス UiPath : RPA関連サービス アノテーション : AI関連サービス 教育・セミナー : AI、クラウド、RPAなど

<セグメント別の売上高比率:4Q(1~3月)>



■ 売上高 : 46億77百万円 (前年同期比 21.6% ↑)

- ・関連会社2社の新規連結による増収。

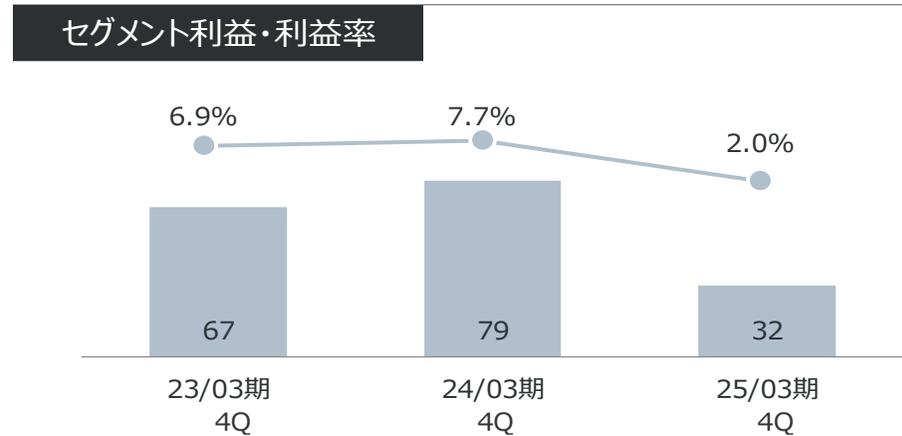
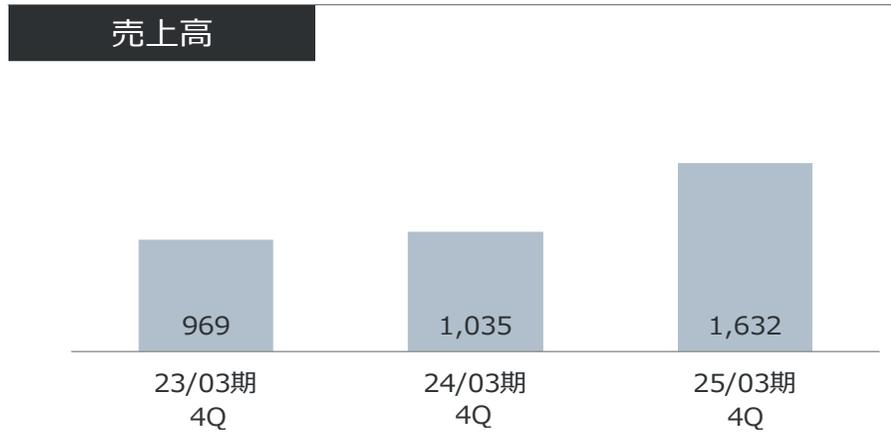
■ セグメント利益/利益率 : 1億67百万円 / 3.6% (前年同期比 26.0% ↓)

- ・売上増も、製品・ライセンスの販売利益率が低下。

[単位 : 百万円未満切捨]

通期

4Q (1~3月)





2

中期経営計画2026の 進捗状況



『中期経営計画2026 (2024~2026年度)』初年度の2025年3月期は、売上高587億円、営業利益59億円と期初予想を上回った。ROEも中計目標を上回ったが、営業利益率の改善が課題。

公表用資料から抜粋

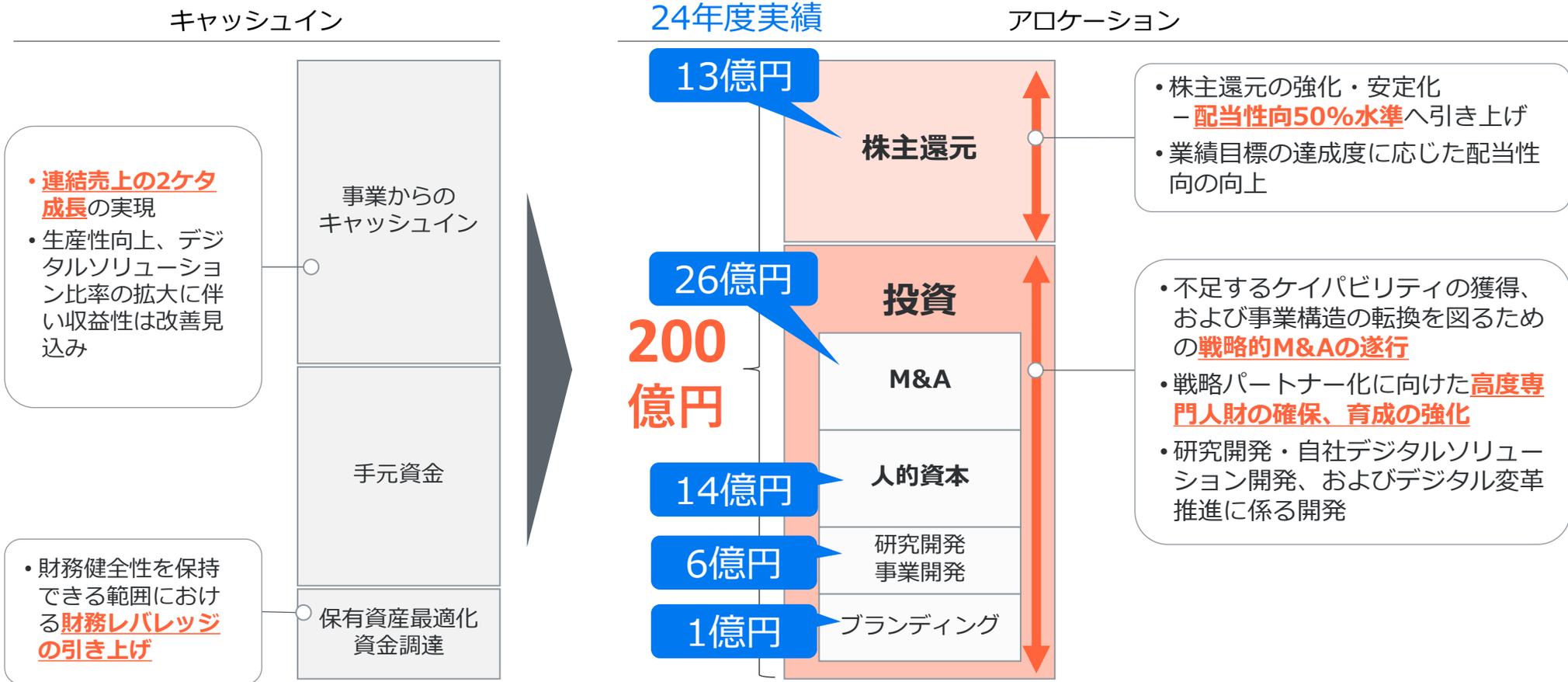
	2024年3月期 実績	中計2026 目標 (2027年3月期)	2025年3月期 実績	進捗率
連結売上高	528億円	700億円	587億円	34.8% (3年増収計画額に 対する進捗率)
連結営業利益額	51億円	80億円	59億円	29.9% (3年増益計画額に 対する進捗率)
連結営業利益率	9.7%	11.5%	10.2%	▲1.3%pt (最終計画値との差)
ROE	14.3%	15%以上	15.1%	+0.1%pt (最終計画値との差)



		2024年度の取り組み状況	主な課題
1	共創型モデルの確立	<ul style="list-style-type: none"> 戦略パートナー候補のアカウント戦略を構築 お客様とのフェイスタイム増加、実施データ可視化を推進 	<ul style="list-style-type: none"> アカウント戦略運用推進
2	品質リーダーシップ発揮	<ul style="list-style-type: none"> 研修等により問題解決、契約法務等スキルを強化 内部監査プロセス・DS開発プロセス整備 	<ul style="list-style-type: none"> 不採算PJ撲滅を目指す全社品質活動の強化
3	人的資本経営推進	<ul style="list-style-type: none"> 採用施策を強化。インド人財採用開始 2年連続「ホワイト500」認定（順位は100位アップ） 	<ul style="list-style-type: none"> 人財情報活用、仕組みの実装
4	技術・デジタルソリューション（DS）の拡張	<ul style="list-style-type: none"> 生成AIを活用した「生成AI環境構築サービス」や「社内DX推進支援サービス」の提供開始 顧客ニーズ起点で重点技術・ソリューション提案実施 DS関連業務の拡張、企画プロセス整備 	<ul style="list-style-type: none"> 拡張対象の認識徹底 顧客提案推進
5	事業連携促進	<ul style="list-style-type: none"> ビジネスパートナー評価見直し、コアパートナー候補再選定 上位BPとの関係性強化策を策定 	<ul style="list-style-type: none"> BPとの関係性強化策実行
6	デジタル変革実現	<ul style="list-style-type: none"> 財務/非財務データ整備・可視化推進 生成AIツール・可視化ダッシュボードを提供、活用促進 システム開発/販売管理業務を生成AIやRPAにより自動化 	<ul style="list-style-type: none"> 生成AI活用・RPAによる業務プロセス改善拡大
7	グループ一体経営	<ul style="list-style-type: none"> グループ内での案件トスアップなどの協業を積極化 情報共有促進のためのルール整備推進 外部機関との提携によるサーチ型戦略的M&Aを推進 	<ul style="list-style-type: none"> Gr戦略アカウント選定 コーポレート機能集約推進

2 中期経営計画 2026進捗  2.3. キャッシュアロケーション方針

- 3年間で200億円を株主還元と投資に充てる計画。2025年3月期は配当13億円のほか、合計47億円を投資した。
- 2026年3月期には、配当性向引き上げと自社株買いによりさらなる株主還元を行うことを公表済。





3 2026年3月期の見通し



- 米国新政権のロシア・ウクライナ紛争への対応方針転換や、相互関税政策が二転三転したことにより、主にグローバル展開を進めている大企業を中心に業績の不透明感が増し、特に自動車産業への悪影響が懸念されている。しかし、生産性向上を目的とした企業のDX投資は継続するとみており、**当社グループの受注は堅調に伸びていくと見込む。**
- **「中期経営計画2026」最終年度の目標は不変。**2年目の2025年度も、7つの成長戦略を着実に実行し、売上高の増加と収益性の向上を目指す。
- 今後の状況や事業動向等を踏まえ、業績予想の修正が必要となった場合には、速やかに開示する。

[単位：百万円未満切捨]

2 Q 累 計	25/03期						26/03期	
	24/5/10 予想	前年 同期比	実績		前年 同期比	達成率	25/5/9 予想	前年 同期比
	売上高	27,800	108.5%	28,506		111.2%	102.5%	31,100
売上総利益			5,544	(19.5%)	118.5%			
営業利益	2,440 (8.8%)	123.3%	2,608	(9.2%)	131.9%	106.9%	2,870 (9.2%)	110.0%
経常利益	2,475 (8.9%)	101.4%	2,763	(9.7%)	113.3%	111.7%	2,890 (9.3%)	104.6%
純利益	1,610 (5.8%)	96.7%	1,879	(6.6%)	112.8%	116.7%	1,950 (6.3%)	103.8%
EPS 円/株	39.08		45.60				47.29	

通 期	25/03期						26/03期	
	24/5/10 予想	前年 同期比	実績		前年 同期比	達成率	25/5/9 予想	前年 同期比
	売上高	58,500	110.9%	58,760		111.4%	100.4%	64,000
売上総利益			11,779	(20.0%)	114.0%			
営業利益	5,900 (10.1%)	115.2%	5,983	(10.2%)	116.8%	101.4%	7,000 (10.9%)	117.0%
経常利益	6,000 (10.3%)	106.0%	6,290	(10.7%)	111.2%	104.8%	7,140 (11.2%)	113.5%
純利益	4,000 (6.8%)	107.3%	4,405	(7.5%)	118.2%	110.1%	4,900 (7.7%)	111.2%
EPS 円/株	96.99		106.89				118.82	

【注】 () 内の数字は各々の利益率を表します。「純利益」は「親会社に帰属する当期純利益」です。

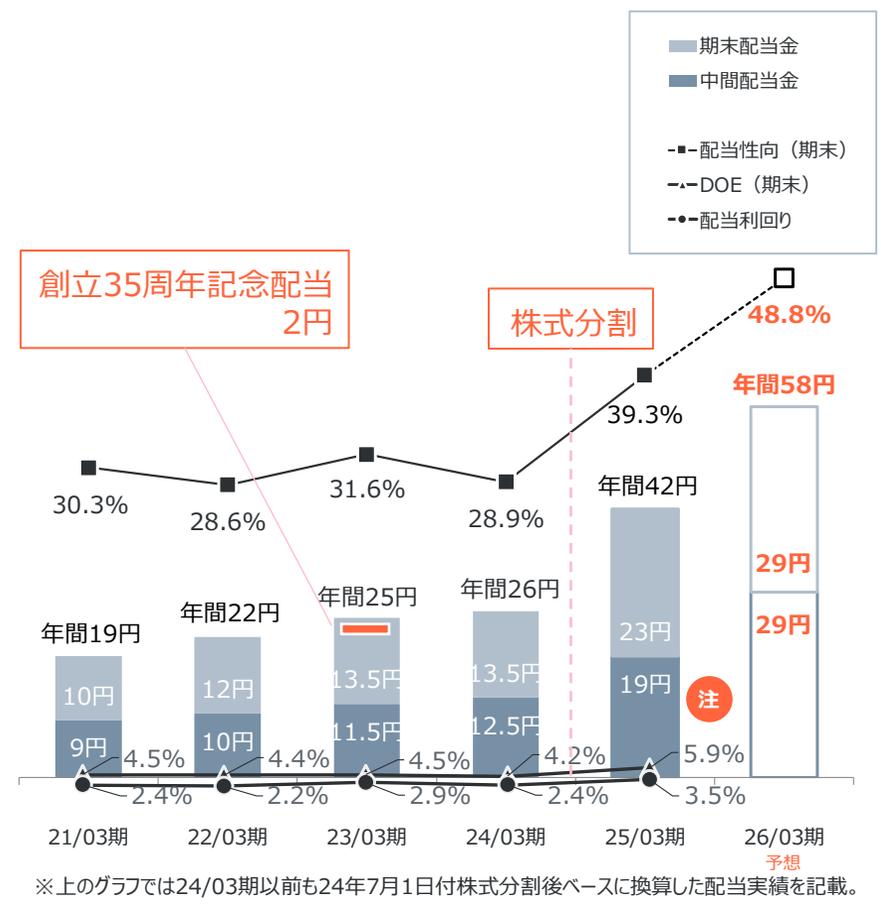
■ 本日公表した新たな株主還元方針に則った配当を継続。2026年3月期は普通配当58円〔中間29円、期末29円〕。

	23/03期	24/03期	25/03期	26/03期	
	実績	実績	実績	25/5/9 予想	増減
中間	23円	25円	19円	29円	10円
期末	27円	27円	23円	29円	6円
年間	50円	52円	42円	58円	16円
配当性向	31.6%	28.9%	39.3%	48.8%	9.5%
配当利回り	2.9%	2.4%	3.5%		
DOE	4.5%	4.2%	5.9%		
配当金の総額	1053百万円	1070百万円	1731百万円		

[配当金の総額：百万円未満切捨]

株主還元方針

- ▶ 当社は株主のみなさまに対する利益還元を経営の重要課題と位置づけており、株主資本の充実と長期的な安定収益力を維持するとともに、業績に裏付けられた適正な利益配分を維持することを基本方針としております。
- ▶ 特段の株主優待は行っておりません。
- ▶ 配当に関しましては、
 (24/03期まで) 原則、連結経常利益をもとに、特別損益を零とした場合に算出される親会社株主に帰属する当期純利益の30%相当を目途に継続的に実現することを目指してまいります。
 (25/03期) 原則、**親会社株主に帰属する当期純利益の40%**を目途に継続的に実現することを目指してまいります。
 (26/03期より) 原則、**親会社株主に帰属する当期純利益の50%**を目途に継続的に実現することを目指してまいります。



注 2025年5月9日、以下の株主還元策の実施を公表いたしました。

- 2026/3期中間期より、新たな配当方針（配当性向40%から50%に引き上げ）に基づき配当額を決定してまいります。
- 2025年5月12日から11月28日まで、「合計1,000,000株または15億円」を上限に、自社株買いを実施いたします。



ご参考

ご参考  1) 連結子会社の変遷

	2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期				2024年3月期				2025年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q																
クレスコ・イー・ソリューション	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコワイヤレス 【※8】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	/	/
アイオス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコ北陸	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
シースリー	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコ・デジタルテクノロジーズ 【※3】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
メクゼス	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エヌシステム 【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ネクサス 【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
アルス 【※4】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
クレスコ・ジェイキューブ 【※4】	/	/	/	/	/	/	/	/	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコベトナム	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
エニシアス 【※1】	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
クレスコ・ネクシオ 【※2】【※6】	/	/	/	/	/	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
日本ソフトウェアデザイン 【※5】【※9】	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	●	●	●	●	●	●	/	/	/
ジェット・テクノロジーズ 【※7】	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	●	●	●	●
子会社総数	12	12	12	12	12	13	13	13	13	11	11	12	12	12	12	12	13	11	11	11

【※1】 2020年4月1日付で「(株)エニシアス」を子会社化

【※2】 2021年7月1日付で「(株)OEC」を子会社化

【※3】 2022年5月1日付で「クリエイティブジャパン」は「クレスコ・デジタルテクノロジーズ」に商号変更

【※4】 2022年7月1日付で「アルス」は「エヌシステム」「ネクサス」を統合

【※5】 2023年2月1日付で「日本ソフトウェアデザイン(株)」を子会社化

【※6】 2023年10月1日付で「OEC」は「クレスコ・ネクシオ」に商号変更

【※7】 2024年4月1日付で「ジェット・テクノロジーズ(株)」を子会社化

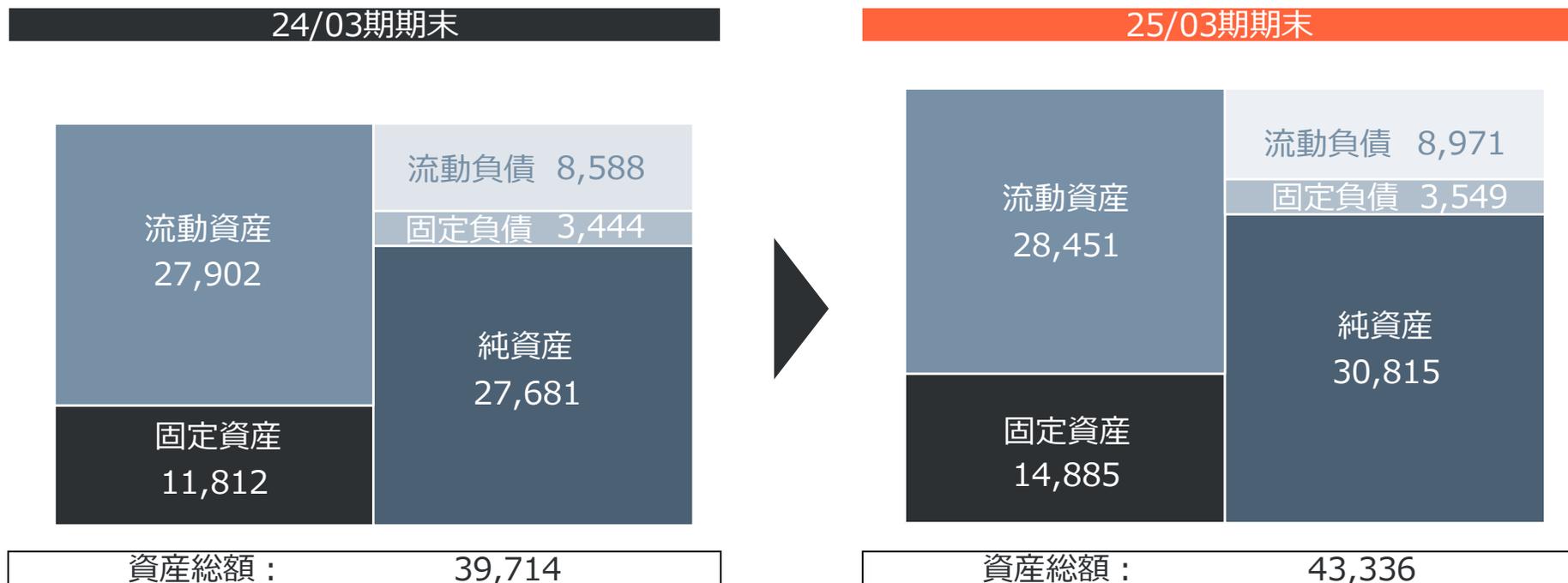
【※8】 2024年6月14日付で「クレスコワイヤレス」の株式譲渡

【※9】 2024年7月1日付で「メクゼス」が「日本ソフトウェアデザイン」を統合

ご参考 ※ 2) 資産・負債の状況

[単位：百万円未満切捨]

- 資産総額は、前連結会計年度末に比べて**36億22百万円増加**し、433億36百万円。



- 流動資産 ↑ 前連結会計年度末比 5億48百万円増加
増加：現金および預金…3億54百万円、前払費用…2億73百万円、売掛金…2億62百万円
減少：電子記録債権…2億5百万円、金銭の信託…1億7百万円、仕掛品…55百万円
- 固定資産 ↑ 前連結会計年度末比 30億73百万円増加
増加：のれん…16億10百万円、投資有価証券…6億93百万円、敷金および保証金…3億43百万円
建物…1億85百万円、繰延税金資産…1億18百万円
- 流動負債 ↑ 前連結会計年度末比 3億82百万円増加
増加：買掛金…3億32百万円、賞与引当金…2億46百万円、契約負債…2億20百万円
減少：1年内返済予定の長期借入金…1億98百万円、未払金…1億46百万円、未払法人税等…97百万円
- 固定負債 ↑ 前連結会計年度末比 1億5百万円増加
増加：役員退職慰労引当金…4億円、退職給付に係る負債…1億3百万円、資産除去債務…40百万円
減少：長期借入金…4億34百万円、社債…30百万円
- 純資産 ↑ 前連結会計年度末比 31億34百万円増加
増加：利益剰余金…17億99百万円、その他有価証券評価差額金…65百万円
減少：退職給付に係る調整累計額…46百万円、自己株式…13億21百万円

ご参考 ※ 3) キャッシュフローの状況

[単位：百万円未満切捨]

- 現金および現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末に比べて**3億80百万円増加し、152億44百万円。**

		23/03期		24/03期		25/03期	
		2Q末	期末	2Q末	期末	2Q末	期末
キャッシュ・フロー	営業活動	1,015	1,679	533	3,213	2,039	4,762
	投資活動	▲ 431	▲ 874	987	1,451	▲ 1,458	▲ 2,293
	財務活動	▲ 894	▲ 1,631	▲ 1,828	▲ 723	▲ 1,088	▲ 2,084
フリー・キャッシュ・フロー		583	804	1,521	4,665	581	2,468
キャッシュ・フロー増減		▲ 307	▲ 822	▲ 302	3,949	▲ 510	380
現金および現金同等物の期末残高		11,430	10,915	10,613	14,864	14,353	15,244

■ 営業CF 47億62百万円の収入

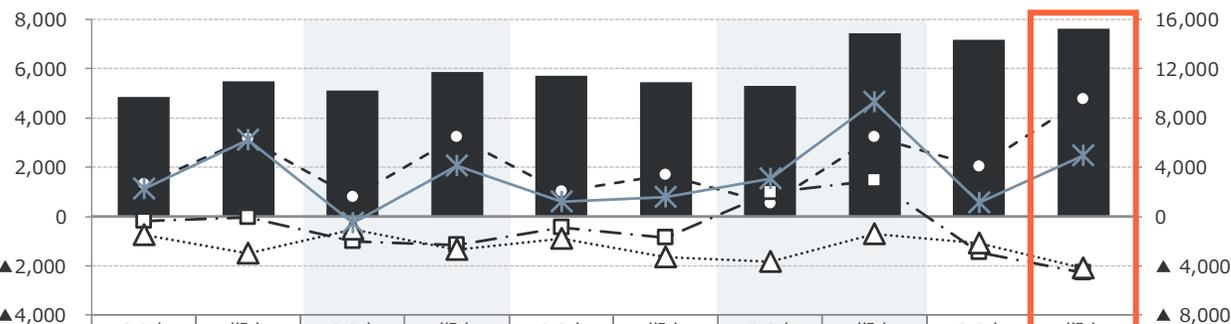
法人税等の支払額 …	21億66百万円
未払金の減少額 …	2億31百万円
役員退職慰勞引当金の減少額 …	1億2百万円
税金等調整前当期純利益 …	62億43百万円
売上債権の減少額 …	4億26百万円
のれん償却額 …	3億44百万円
減価償却費 …	2億82百万円

■ 投資CF 22億93百万円の支出

投資有価証券の償還による収入 …	8億17百万円
投資有価証券の売却による収入 …	4億9百万円
有価証券の売却による収入 …	1億32百万円
投資有価証券の取得による支出 …	14億13百万円
連結範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出 …	11億65百万円
「その他」に含まれる敷金および保証金の支払額 …	4億61百万円
有形固定資産の取得による支出 …	4億11百万円
無形固定資産の取得による支出 …	1億83百万円

■ 財務CF 20億84百万円の支出

配当の支払額 …	13億37百万円
長期借入金の返済による支出 …	7億3百万円



	21/03期		22/03期		23/03期		24/03期		25/03期	
	2Q末	期末	2Q末	期末	2Q末	期末	2Q末	期末	2Q末	期末
■ 期末残高	9,748	11,015	10,247	11,737	11,430	10,915	10,613	14,864	14,353	15,244
-○- 営業CF	1,300	3,155	774	3,222	1,015	1,679	533	3,213	2,039	4,762
-□- 投資CF	▲ 181	▲ 47	▲ 1,027	▲ 1,155	▲ 431	▲ 874	987	1,451	▲ 1,458	▲ 2,293
…▲… 財務CF	▲ 755	▲ 1,479	▲ 516	▲ 1,352	▲ 894	▲ 1,631	▲ 1,828	▲ 723	▲ 1,088	▲ 2,084
-*- フリーCF	1,118	3,108	▲ 252	2,066	583	804	1,521	4,665	581	2,468

CRESCO **✳**

顧客への新たな価値創出

- 2022年
生成AI活用に向けた
取り組みを開始
- 2023年
社員向け生成AIチャット
サービス「CrePT」を開発、
運用開始
- 2024年
社長直轄の部門横断組織
である**生成AIビジネス
変革研究室**を設立

- **デジタルソリューション提供**
「生成AI環境構築サービス」の提供開始
- **ITサービス他ビジネスの品質向上**
開発部門社員の生成AI利用率は**62%**
(前年度末時点：36% **26% Up↑**)

生成AIを利用した社内デジタル変革

- **社内管理業務の効率性向上**
管理部門社員の生成AI利用率は**72%**
(前年度末時点：35% **37% Up↑**)
- **AI自動解答サービスの社内運用開始**
「社内コンシェルジュサービス」が社内ルール関連照会に対応

生成AI時代に適応する人財育成

- **社内オリジナル教材によるスキル向上**
「生成AIリテラシー講座」全社員受講率 **95%以上**
- **部署向けハンズオン講座開催**
累計**22**部署で開催

CRESCO Group Ambition 2030



CRESCO Group Ambition 2030

人が想い描く未来、
その先へ

クレスコグループは
最高のテクノロジーと絆で
“わくわくする未来”を創造します

中期経営計画2026



「CRESCO Group Ambition 2030」「中期経営計画2026」達成に向け、あらゆる局面で生成AIを活用し、生産性・競争力を最大化して価値を創出する

ご参考 5) 経営ビジョンと中期経営計画の詳細URL



「経営ビジョン」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/corpinfo/vision.html>

【注】 コーポレートロゴ変更に伴い、イメージ画像を変更しました。 内容に変更はありません。



「中期経営計画2026」の詳細

<https://www.cresco.co.jp/ja/ir/operation/plan.html>



ご参考  6) 対処すべき課題

課題	2025年3月期の取り組み
不採算プロジェクトの発生防止	・管理職・PM層への注意喚起・研修、プロジェクト受注レビューの厳格運用化等の結果、新規発生件数が減少。
ITエンジニアの確保と育成	・学校関係構築強化、採用方法見直し等により新卒採用数を大幅に増強。 ・海外人材獲得を図り、インド現地採用を開始。
グループ連携を軸にした顧客への提案活動	・グループ連携所管部署を増強。グループ会社へのBP連携、共通顧客に関する情報連携・共同提案等を強化。
デジタルソリューション事業の売上増加と収益性向上	・新たなアライアンス商品、自社開発商品の拡充策を推進。 ・デジタルソリューション関連業務の拡張を推進。
生産性の向上	・生成AIビジネス変革研究室を立ち上げ、開発業務、社内業務での生成AI活用を推進。業務プロセスの改善、テスト運用等を実施。
サステナビリティ経営および人的資本経営の推進	・サステナビリティ事務局の立ち上げ決定。 ・人財開発担当部署を独立させ育成メニュー等を見直し。エンゲージメントの向上を推進。

免責事項等

- ❖ 掲載内容については細心の注意を払っておりますが、掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関し、当社は一切責任を負うものではありません。
- ❖ また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。
- ❖ なお、本資料における将来予測に関する情報および業績見通し等の予想数値や将来展望は、現時点で入手可能かつ合理的な情報による判断および仮定に基づき記述しております。
- ❖ 今後、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予告なしで情報を変更したり、実際の業況や業績結果と大きく乖離するなど、本資料の内容と異なる可能性もございます。予めご了承ください。

【 IRのお問合せ】

IR・ブランディング室

Mail : ir@cresco.co.jp

TEL : 03-5769-8058